

レヴィメールニュース 2026年9月2日号

※ 本メールは過去に名刺交換させていただいた方へお送りしています。

こんにちは、株式会社レヴィです。いつも応援を頂きありがとうございます。
このメールでは、株式会社レヴィの取り組みやシステムデザインに関する最新の情報についてお知らせします。

学校の夏休みが終わり、9月になりました。まだまだ残暑が続きそうですので、熱中症などに気をつけてお過ごしください。今回のメールニュースではイベントやダウンロード資料の案内、note 最新記事など5件のお知らせをお届けします。

【目次】

- ・【無料オンラインセミナー】生成AIがまとめたシステム要望を、ベンダーに説明できますか？
- ・【無料ダウンロード資料】ソフトウェア品質モデリング
- ・「SE 実践を語る」ライブ配信&ミートアップイベントのお知らせ
- ・Balusianの集い #36 を実施しました（アーカイブ動画）
- ・「思考のトリセツ」最新記事のご紹介

■■■■【無料オンラインセミナー】生成AIがまとめたシステム要望を、ベンダーに説明できますか？■■■■

生成AIを使ってシステムへの要望をまとめる作業は速くなりましたが、いざベンダーに渡す際に「なぜこの要件が必要なのか」をうまく説明できずに困ったことはありませんか？本セミナーでは、生成AIがまとめたシステム要望の「文章」を「構造」に置き換えることで、要件の全体像や目的とのつながりが見える化し、自信を持って判断・説明できるようになる手法をご紹介します。

Zoomによるオンラインセミナーで、どなたでも無料でご参加いただけます。ご関心のある方はぜひお申し込みください。

開催日時：2026年9月17日（木）14:00～15:00

内容：

- ・システム要望の整理を生成AIに任せると、何が起きるか
- ・構造化すると判断がしやすくなる
- ・事例紹介

お申し込みや詳細については下記のURLをご覧ください。

【システム企画・導入担当者向け】生成AIがまとめたシステム要望を、ベンダーに説明できますか？～整理は、任せられる。判断は、任せられない～

<https://levii.co.jp/events/pages/20260911-dxseminar/>

■■■【無料ダウンロード資料】ソフトウェア品質モデリング■■■

「バグがない」だけでは語れないソフトウェアの品質を、提供価値から捉え直す。そんな考え方をまとめた資料「品質の捉え方を見直す「ソフトウェア品質モデリング」とは」を無料公開しました！

機能を増やすほど満足度が下がるという逆説を出発点に、提供したい価値から要件を導く考え方を、事例とともに解説しています。下記のページよりダウンロードできるので、ぜひご覧ください。

無料ダウンロードはこちら

<https://levii.co.jp/downloads/dx-01/>

■■■「SE 実践を語る」ライブ配信&ミートアップイベントのお知らせ■■■

今週は対話型コミュニティ「SE 実践を語る」のイベントを2件開催します！ご都合とご関心に合わせて、ぜひご視聴&ご参加下さい。

①SE 実践を語るライブ(座談会) #5【9/1(火) 開催】

システムズエンジニアリングの実践者たちが話題を持ち寄り、勉強会形式でお役立ち資料を紹介したり、議論したりします。

＜今回のテーマ＞

- ・ AI プロジェクトはなぜ「PoC で止まる」のか - CPMAI が示す判断のフレームとシステムズエンジニアリング
- ・ SE における AI 支援とツール (続き)

SE 実践を語るライブ(座談会) #5 案内ページ

<https://levii.co.jp/events/pages/20260901-se-kataru-live-05/>

②SE 実践を語る ミートアップイベント【9/6(日) 開催】

コミュニティのさらなる発展を狙ってミートアップイベントを開催します！開催場所をレヴィの創業メンバーが大学院生として学んでいた JAXA 宇宙科学研究所の近くに設定し、トークセッション、宇宙科学研究所の見学、システム開発体験ゲームの試遊、懇親会など、盛りだくさんの内容となっています。

SE 実践を語る ミートアップイベント 案内ページ

<https://levii.co.jp/events/pages/20260906-se-kataru-meetup/>

■■■Balusianの集い #36 を実施しました (アーカイブ動画)■■■

Balus ユーザコミュニティのメンバーが集まって意見交換や事例紹介などを行うミートアップイベント「Balusianの集い」を定期的に開催しています。

「Balusianの集い」の様子はアーカイブ動画から視聴することができます。36回目となる今回は「(8/5に実施した)構造化勉強会の振り返り」や「ゲーム教材を考えるワーク」などに Balus を使いました。

Balus ユーザの皆さんはもちろん、現段階ではユーザではなくても「Balus のことが気にな

っている」という方もぜひご覧になってみて下さい。

※ 次回 (#37) は、10月上旬に開催予定です。

Balusianの集い #36 アーカイブ動画

https://www.youtube.com/live/v6HJx_HZs4o

■■■「思考のトリセツ」最新記事のご紹介■■■

「思考のトリセツ」では最新記事を公開中です。その中から注目の記事をピックアップしてご紹介します。ビジネスや業務に役立つ思考法のヒントをぜひご覧ください。

AIが要件定義書を書いてくれた。で、誰がOKを出すんだろう

<https://note.levii.co.jp/n/nbdafd554f55a>

生成AI時代の、失敗しないシステム発注——要望を3つの層に分けて迎える

<https://note.levii.co.jp/n/n03e407b35955>

★★★★ 今日のレヴィ辞典 ★★★★★

【対話型モデリング】

リアルタイムでモデル（構造）を描き、それを関係者全員で一緒に見ながら対話し、共通の理解や合意を深めていくアプローチのことです。言葉だけではズレが生じやすい複雑なプロジェクトにおいても、認識の食い違いを防ぎ、手戻りのない合意形成を促進します。

お役立ち資料を無料でダウンロード

<https://levii.co.jp/downloads/>

--

発行：株式会社レヴィ

〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-3

<https://levii.co.jp>